

ごあいさつ	2
東亜グループのCSR	4
コンプライアンスとリスクマネジメント	6
内部統制・情報セキュリティ	7
人材育成と就労環境	8
ステークホルダーへの情報発信	9
マネジメントシステム	
労働安全衛生マネジメントシステム	10
品質／環境マネジメントシステム	11
事業継続マネジメントシステム	12
環境への取組み	
環境目的・目標と活動結果	13
環境に配慮した設計・施工技術	14
環境に関する研究開発	17
環境保全活動	18
建設廃棄物のリサイクルと再利用	19
環境会計・グリーン調達	20
コミュニケーション	
社会貢献とコミュニケーション	22
グループ会社	26
会社概要・お問い合わせ先・ 支店所在地・アンケート	27

CSR報告書発行にあたって

■ 発行目的

社内外の利害関係者の皆様に対して企業の社会的活動等を開示することを目的として作成しました。

■ 編集方針

環境省「環境報告ガイドライン」(2007年度版)を参考にして作成しました。内容的にすべてを網羅することはできておりませんが、現状で可能な範囲で記載しています。

■ 対象範囲

東亜建設工業およびグループ会社を対象としています。

■ 対象年度

2008年度(2008年4月1日～2009年3月31日)の活動を主に対象として取りまとめています。

ごあいさつ



2008年に創業100周年を迎えた東亜建設工業グループは、次の世紀も力強く歩み続けるための第一歩として、2007年度を初年度とする中期経営計画を定め、その究極的目標である「持続可能な経営基盤の構築」と「市場環境の変化に適応した収益構造への変革」の達成に向かって、邁進しております。

本経営計画の基本戦略として、営業力・技術力・収益力を強化し事業環境が変化する中で受注及び

持続可能な経営基盤を構築

利益を確保すること、財務体質や経営効率を改善することにより安定した経営基盤を築くこと、企業の社会的責任を果たすことにより社会から信頼及び評価を勝ち得ることの三つを掲げております。

そのうち「企業の社会的責任の追及」については、社長の私自らが委員長を務める「CSR委員会」を頂点とし、企業活動において社会倫理や法制度の順守を徹底させるための「コンプライアンス・内部統制部会」と、安全・環境・品質など事業遂行におけるさまざまなリスクを適切に管理するための「リスクマネジメント部会」を本社に設置するとともに、支店・事業部並びにグループ関連会社にもそれぞれの長を委員長とする「CSR委員会」を

組織し、グループ全体で取り組む体制を整えております。

本報告書は、当社グループのCSRに関する2008年度活動実績と2009年度基本方針並びに活動計画をまとめたものです。限られた頁数ですので、その一端しかご紹介できませんが、「企業の社会的責任」に対する我々の真摯な姿勢について、ご理解いただくとともに、当社グループが社会に貢献し社会とともに成長し続けるために、忌憚ないご意見ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

鈴木 行雄